
人豚の刑

普通のシー様（冷凍済み）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人豚の刑

【Nコード】

N2507Q

【作者名】

普通のシー様（冷凍済み）

【あらすじ】

人豚の刑が、とりあえず凄いという話

人豚の刑とは、昔の中国の王様が実際に行った仕打ちで簡単に説明すると、

まず、目を指で潰して失明させて被害者の悲鳴を聞く。

次に声を奪う為に水銀を飲ませて声を奪う。

次に耳の穴にイオウを流し込み音を奪う。

最後に両手足を切断して狭いタルにぶち込む。

出血している患部がタルの壁に押し付けられ、出血スピードが遅くなるそうで、手足の無い状態でも4時間は生きてるそう。

これはテレビで再現ドラマを見てオイラ人生最大のエクスシーを感じたね。

現代の中国マフィアの間では拷問の際、同じような刑が行われるらしい。

口を割らないで拷問に耐えると両手足を切断された状態で官に詰められ、田舎のお土産屋さんとかに、首だけ出した人形として飾られるそう。

ちゃんと手術してるから、出血で死ぬ事は無く延命させられるらしい。

見世物として小金を稼ぐ日々を過ごし、万が一、観光客に助けを求めたら、店主は全ての証拠を隠滅する用意ができてるのだそう。要するにライフルで射殺して遊ぶのだと。

秘境の地だから何が起きてもバレナイというか、治安が行き届いていない。

オイラの友達の麻生総理も中国の秘境へ植樹に行ったきり帰ってこないし、もしかして殺されたのかな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2507q/>

人豚の刑

2011年1月20日20時50分発行